

ぎょうだ ふるさと 検定

残念不正解です！

問題

2684 忍城の実質的な天守閣として機能した建物で、昭和 63 年に再建され現在、展望室や、資料の展示室になっている建物の名前は何ですか。

ア 御二階櫓

イ 御三階櫓

ウ 大手門

正解 イ

元禄 7 年(1694)阿部正武のとき忍藩は 10 万石になり、元禄 15 年(1702)には御三階櫓が完成し、名実ともに忍藩十万石の城としての形が整いました。現在の御三階櫓は昭和 63 年(1988)に再建され、展望室や、資料の展示室になっています。

「江戸時代に入ると忍藩の藩庁あるいは徳川氏の譜代大名や親藩の居城となり、阿部氏の時代には御三階櫓が新たに建設されるなどの城郭改修や城下町の整備が行われた[1][2]」

「本丸跡には御三階櫓が再建[1]」

[1] “忍城址”. 行田市教育委員会 (2015 年 11 月 2 日). 2016 年 4 月 26 日時点のオリジナルよりアーカイブ。2016 年 4 月 17 日閲覧。 [2] “忍城に関する歴史”. 行田市 (2014 年 5 月 26 日). 2016 年 3 月 24 日時点のオリジナルよりアーカイブ。2016 年 4 月 17 日閲覧。

ウィキペディアの執筆者, 2025, 「忍城」『ウィキペディア日本語版』, (2025 年 12 月 13 日取得,
<https://ja.wikipedia.org/w/index.php?title=%E5%BF%8D%E5%9F%8E&oldid=106562093>)

忍城御三階櫓



Mocchy - 投稿者自身による著作物, パブリック・ドメイン, <https://commons.wikimedia.org/w/index.php?curid=126947058>